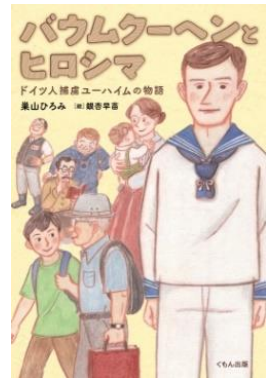


「平和」と「幸せ」を考える児童書『バウムクーヘンとヒロシマ』を 原作にしたミュージカルが上演されました！

くもん出版（代表取締役社長 志村直人）が2020年6月に刊行した児童書『バウムクーヘンとヒロシマ』（第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞）が、ミュージカルカンパニー、イツフォーリーズの手でミュージカル化。バウムクーヘンがつないだ平和の物語が、俳優座劇場の舞台上で生き生きと描かれました。

■ 平和の大切さを……

広島に住む小学生の颯太は、キャンプで似島を訪れます。その地は、日本で初めてバウムクーヘンを焼いたドイツ人菓子職人、カール・ユーハイムが第一次世界大戦中に捕虜として収容された場所でした。お菓子をつくることは、平和をつくること。カールが焼いたバウムクーヘンは、のちに原爆ドームと呼ばれることになる、広島県物産陳列館で販売されました。カール・ユーハイムの人生を通して、颯太は平和の大切さを学んでいくことになります。



■ バウムクーヘンに込められた平和への想い

捕虜となり家族と離れ離れになったカールが平和を願ってバウムクーヘンを作る姿と、子どもたちが楽しくバウムクーヘンを作るシーンは、バウムクーヘンがつないだ平和が描かれた象徴的なシーン。戦争の悲惨さが語られる場面がありながらも、優しい雰囲気にも包まれた舞台となりました。

公演初日の3月26日には舞台挨拶が行なわれ、原作者の巣山ひろみさんと画家の銀杏早苗さんが登壇。『バウムクーヘンとヒロシマ』に込めた平和への想いを語りました。（写真右、最前列右が巣山ひろみさん、最前列左が銀杏早苗さん）



■ 第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞

本書は、第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞するなど、高い評価をいただきました。

くもん出版は、今後も子どもたちにとって意義のある児童書を発刊していきます。

<著者略歴>

作：巢山ひろみ 広島市出身。『雪の翼』で第20回ゆきのまち幻想文学賞長編賞受賞。『逢魔が時のものがたり』（学研）で第42回児童文芸新人賞受賞。作品に『パン屋のイーストン』シリーズ（出版ワークス）など。日本児童文芸家協会会員。

絵：銀杏早苗 広島市出身。MJイラストレーションズ卒業。『命のものさし』（今西乃子／著、合同出版）の挿絵などを手がける。

<書誌情報>

『バウムクーヘンとヒロシマ』巢山ひろみ/作 銀杏早苗/絵

【ISBN】978-4-7743-3057-4

【対象】小学中学年から

【体裁】四六判・ハードカバー・176 ページ

【定価】1,540 円（税込）

【刊行日】2020 年 6 月 23 日

【発行】くもん出版

株式会社 くもん出版 （広報担当：内木滋雅）

〒141-8488 東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア 11F

Email : kouhou@kumonshuppan.com

くもん出版サイト ⇒ <https://www.kumonshuppan.com/>